茅野市の働き方改革　北山小学校

（ 1 2 ・・・の番号は裏面参照）　　R８．３

茅野市教育のめざすすがた

街中を子どもの学びの場
・子どものための学びの場
・フリースクールとの連携

地域とともにあり、地域づくりに参画する学校
～共生社会の中の学校

縄文のビーナスプラン②
地域の特色と教育的財産を生かした小中一貫教育と探求的な学び

子どものための学校・学級づくり・質の高い授業づくり
～たくましく・やさしい夢のある子どもを育てる～

自分の人生を豊かに生きる教職員

茅野市働き方改革の目標

子どものための学校・学級づくり・質の高い授業づくり
―教職員が教育活動に専念でき、自分の人生を豊かにするための教育環境―
―時間を生み出す工夫をしていくー

時間削減の目標

	R6年	R7年	R8年	R9年	R10年	R11年
小学校	35	34	33	32	31	30
中学校	42	39	36	33	30	30

縄文のビーナスプラン①
共生社会をつくり、子どもたちの多様性を包み込む学校

茅野市の働き方改革の具体

働き方改革の核

～学校と教育委員会との役割分担と協働～　子ども・家庭支援の充実と
子ども家庭への支援・相談は 育ちあいちの 学校・職員の支援の充実と
5　19　精神的負担の軽減

児童相談所・警察・外部機関との連携

市の社会福祉部門との連携

学校の取組

地域と共につくる学校

1 コミュニティ・スクールの充実 4 17
（地域コーディネータによる運営）
・子どもの学びのための支援
・学校施設整備への支援
・見回り(交通安全・不審者) 1
2 ボランティアの方による学びの支援 15
3 広報資料・ウェブサイトの作成 7

北山小学校では、地域の方より読み聞かせ、クラブ活動へ支援をいただきます。

学校業務の効率化・軽減化

1 勤務時間の客観的管理・市教委の把握
2 校務のＩＣＴ化　教師用タブレットとクラウド利用とネットワーク化
3 業務支援員の配置 16
4 会議、提出物の精選化
5 年間計画、日課表の改善（研究、授業準備の時間の確保、定時退庁日の設定）

北山小学校では、日課を見直し、6時間授業のときは下校時刻を15時30分、5時間授業のときは14時40分にして授業準備の時間を確保し、指導の充実を図ります。

教育課程の改善

1 １時間単位の授業の弾力的運用（中学校）
2 小学校教科担任制
3 教具・教材の共有化

北山小学校では、5.6 年生で教科担任制を導入し、専門性を生かした質の高い授業に結びつけます。

働き方改革への市教委として教育活動への支援　～リードから支援とアドバイスへ～

1 読書活動応援センター(読書指導への支援)
2 ＩＣＴサポートセンター(ＩＣＴ教育のため１２名を配置) 8
3 発達支援センターと特別支援教育支援員の配置(４０名)
4 公民館等の公共機関による出前講座等による支援
5 いじめ対応の学校支援員会　・アドバイザーの配置　〈弁護士、医師、心理の専門家・学識経験者〉
6 部活動の地域展開　（土日の部活はＲ８年度に完全展開　平日の部活動はＲ13 年度までに完全展開） 13
7 不登校支援　サポートルームの設立(６サポートルーム、７ミニサポートルーム)まなざし　県費１名、市費１０名の教員配置
8 給食指導、食育への栄養教諭、栄養士による指導 14

教職員のメンタルヘルス

1 ストレスチェックの活用
2 市独自のストレスチェックテスト
3 教職員の相談窓口（育ちあいちの）
4 教委による外部相談・医療紹介